令和９年度　京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

博士前期課程（修士課程）

推薦入学特別入試・自己推薦特別入試学生募集要項

学　域	専　攻	推薦入学特別入試			自己推薦特別入試
		３×３	大卒	高専	
応用生物学域	応用生物学専攻	20名	若干名	若干名	――
物質・材料科学域	材料創製化学専攻	15名	若干名	若干名	――
	材料制御化学専攻	15名	若干名	若干名	――
	物質合成化学専攻	15名	若干名	若干名	――
	機能物質化学専攻	15名	若干名	若干名	――
設計工学域	電子システム工学専攻	40名	若干名	若干名	――
	情報工学専攻	36名※	若干名	若干名	――
	機械物理学専攻	18名	3名		――
	機械設計学専攻	15名	3名		――
デザイン科学域	デザイン学専攻	15名	若干名	若干名	――
	建築学専攻	10名	若干名	若干名	――
	京都工芸繊維大学・チェンマイ大学 国際連携建築学専攻	若干名	――	――	――
繊維学域	先端ファイブロ科学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	若干名	若干名	若干名	１０名

出　願　期　間	令和８年５月21日～5月27日
学　力　検　査　日	令和８年７月４日（※）
合　格　発　表	令和８年７月15日
入　学　手　続　期　間	令和８年７月21日～7月27日

※情報工学専攻の入学定員は、現在、文部科学省に申請中の計画であり、今後、計画内容に変更がある場合があります。

※災害等により学力検査日に入学試験を実施できないと大学が判断した場合のみ、予備日に入学試験を延期することがあります。予備日は原則として、令和8年7月5日を予定しています。

重要

試験室の場所や受験上の注意、試験で使用する物品（PC・説明用資料・電卓等）を追加する場合は、試験日の１週間程度前までにホームページに掲載しますので、各自でご確認ください。
また、試験日までに何らかの不測の事態が生じた場合など、試験実施方法等を急きょ変更する場合も、速やかに本学ホームページにてお知らせしますので、定期的にご確認願います。
大学院入試最新情報：https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php

— 目 次 —

推薦入学特別入試

Ⅰ 3×3（スリーバイスリー）特別入試（本学卒業見込者）

1 募集人員 …… 1
2 出願資格 …… 2
3 出願手続
⑴ 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間） …… 2
⑵ 書類提出方法 …… 2
⑶ 希望指導教員への研究内容等の事前相談 …… 3
⑷ 出願書類 …… 3
4 検定料の支払 …… 4
5 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について …… 4
6 出願についての注意事項 …… 4
7 選抜方法 …… 4
8 学力検査日時及び検査方法
⑴ 学力検査日時及び科目 …… 5
⑵ 専攻ごとの注意事項 …… 6

Ⅱ 大学卒業見込者

1 募集人員 …… 8
2 出願資格及び推薦要件 …… 8
3 出願手続
⑴ 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間） …… 9
⑵ 書類提出方法 …… 9
⑶ 希望指導教員への研究内容等の事前相談 …… 9
⑷ 出願書類 …… 10
4 検定料の支払 …… 10
5 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について …… 11
6 出願についての注意事項 …… 11
7 選抜方法 …… 11
8 学力検査日時、検査方法及び場所等
⑴ 学力検査日時及び科目 …… 13
⑵ 専攻ごとの注意事項 …… 14

Ⅲ 高等専門学校専攻科修了見込者

1 募集人員 16
2 出願資格及び推薦要件 16
3 出願手続
⑴ 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間） 16
⑵ 書類提出方法 17
⑶ 希望指導教員への研究内容等の事前相談 17
⑷ 出願書類 17
4 検定料の支払 18
5 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について 18
6 出願についての注意事項 19
7 選抜方法 19
8 学力検査日時及び検査方法
⑴ 学力検査日時及び科目 20
⑵ 専攻ごとの注意事項 21

自己推薦特別入試

1 募集人員 23
2 出願資格及び推薦要件 23
3 出願手続
⑴ 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間） 23
⑵ 書類提出方法 23
⑶ 希望指導教員への研究内容等の事前相談 23
⑷ 出願書類 24
4 検定料の支払 25
5 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について 25
6 出願についての注意事項 25
7 選抜方法 26
8 学力検査日時及び検査方法
⑴ 学力検査日時及び科目 26
⑵ 専攻ごとの注意事項 26

共通事項

1 学力検査場所・受験についての注意事項等 28
2 合格発表 29
3 入学手続 29
4 入学に要する経費 29
5 入学料・授業料の免除等制度 30
6 奨学金制度 30
7 安全保障輸出管理 31

アドミッションポリシー 32

よくあるご質問 37

問い合わせ先 37

令和９年度博士前期課程（修士課程）推薦入学特別入試・自己推薦特別入試学生募集要項における記載内容の訂正とお詫び（正誤表）

令和８年３月12日に公表しました令和９年度（令和８年度実施）博士前期課程（修士課程）推薦入学特別入試・自己推薦特別入試学生募集要項において、3×3(スリーバイスリー)特別入試（本学卒業見込者）の出願書類について記載内容に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

なお、訂正箇所は、赤字で記載しております。

【訂正箇所】）3ページ　3×3(スリーバイスリー)特別入試（本学卒業見込者）：出願書類（7）
ＴＯＥＩＣ個人用公式認定証（デジタル）

変更前

出願書類（7）ＴＯＥＩＣ個人用公式認定証（デジタル）

TOEIC Listening & Readingデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたもの）を提出してください。公式認定証の原本は、原則として、受け付けられません。デジタル公式認定証が発行されない場合は、入試課大学院入試係（巻末問合せ先参照）に出願期間までにご相談ください。

なお、ＴＯＥＩＣスコアの有効期限は、ＴＯＥＩＣ受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、2年以内とします。

また、カレッジＴＯＥＩＣ等の団体特別受験制度（ＩＰテスト）では、スコアの公式認定証が発行されないので、同テストによるスコアは認めません。

変更後

出願書類（7）ＴＯＥＩＣ個人用公式認定証（デジタル）

外国語の筆記試験に代えてＴＯＥＩＣを課している専攻に出願する人は、

TOEIC Listening & Readingデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたもの）を提出してください。公式認定証の原本は、原則として、受け付けられません。デジタル公式認定証が発行されない場合は、入試課大学院入試係（巻末問合せ先参照）に出願期間までにご相談ください。

なお、ＴＯＥＩＣスコアの有効期限は、ＴＯＥＩＣ受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、2年以内とします。

また、カレッジＴＯＥＩＣ等の団体特別受験制度（ＩＰテスト）では、スコアの公式認定証が発行されないので、同テストによるスコアは認めません。

Ⅰ ３×３（スリーバイスリー）特別入試（本学卒業見込者）

３×３制度とは、従来の学部課程４年、博士前期課程（修士）２年、博士後期課程３年の制度を、実質的に学部課程３年、博士前期課程（修士）３年、博士後期課程３年として運用する教育制度です。

学部４年次を博士前期課程０年次（以後、「Ｍ０」という）とみなして博士前期課程に組み込み、実質３年間の博士前期課程を構成します。博士前期課程の ３ 年間のうち、特にＭ０において海外留学や大学院科目の受講等、早期に大学院教養教育を学ぶことにより、博士前期課程をより充実させようとするもので、本学独自の制度です。

この制度に基づき大学院博士前期課程へ進学するには、事前に３×３制度における所定の条件を満たし、推薦の承認を受ける必要があります。（被推薦者の決定方法、時期は所属課程によって異なりますので、事前に所属課程に確認してください。）

1 募集人員

学　域	専　　攻	募 集 人 員
応用生物学域	応用生物学専攻	２０名
物質・材料科学域	材料創製化学専攻	１５名
	材料制御化学専攻	１５名
	物質合成化学専攻	１５名
	機能物質化学専攻	１５名
設計工学域	電子システム工学専攻	４０名
	情報工学専攻	※３６名
	機械物理学専攻	１８名
	機械設計学専攻	１５名
デザイン科学域	デザイン学専攻	※１５名
	建築学専攻	※１０名（特定課題型5名、論文型5名）
	京都工芸繊維大学・チェンマイ大学 国際連携建築学専攻	若干名
繊維学域	先端ファイブロ科学専攻	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	若干名

※情報工学専攻の入学定員は、現在、文部科学省に申請中の計画であり、今後、計画内容に変更がある場合がある。

※デザイン学専攻の３×３特別入試では、修了方法「論文型」及び「特定課題型」のみ募集する。

※建築学専攻の募集人員は、特定課題型５名、論文型５名を目安とするが、各型の合格者数は、出願状況や学力検査の結果により、増減することがある。

《注》

(1) 募集人員は、あくまで合格の目安を示すもので、合格者の数を確約するものではありません。
選抜の結果によっては、合格者が募集人員に対して増減する場合または合格者がない場合があります。

(2) 各専攻における推薦入学特別入試の入学手続者数が募集人員に対して増減した場合は、一般入試第Ⅰ期の各専攻の募集人員を減らす、あるいは増やすなど調整を行います。

２　出願資格

京都工芸繊維大学工芸科学部を令和９年３月に卒業見込みであり、所属課程から３×３制度における推薦を受けた人で、合格した場合には入学を確約できる人とします。

各課程から出願可能な専攻は次の表のとおりです。

出願可能な専攻 ＼ 在籍する課程	応用生物学課程	応用化学課程	電子システム工学課程	情報工学課程	機械工学課程	デザイン・建築学課程
応用生物学専攻	○					
材料創製化学専攻		○				
材料制御化学専攻		○				
物質合成化学専攻		○				
機能物質化学専攻		○				
電子システム工学専攻			○			
情報工学専攻				○		
機械物理学専攻					○	
機械設計学専攻					○	
デザイン学専攻						○
建築学専攻						○
京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻						○
先端ファイブロ科学専攻	○	○	○	○	○	○
バイオベースマテリアル学専攻	○	○	○	○	○	○

先端ファイブロ科学専攻及びバイオベースマテリアル学専攻については、志望する専攻を担当する教員の指導を受けて卒業研究を行う学生を想定しています。

なお、地域創生Tech Programの卒業プロジェクトを地域Tech担当教員の指導のもとで履修する人は、３×３制度による推薦入学特別入試では出願できないことから、「大学卒業見込者」区分（8 ページから 9 ページを参照）または「自己推薦特別入試」（23 ページを参照）により出願してください。

３　出願手続

⑴ 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間）

令和８年５月21日（木）から令和８年５月27日（水）まで

上記の期間内に本学のインターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。

⑵ 書類提出方法

入試課へ持参して提出する場合 ≪入試課≫松ヶ崎キャンパス３号館１階	○土曜日・日曜日・祝日は受付しておりません。 ○受付時間は９時から12時まで及び13時から16時までです。
郵送で提出する場合 ≪郵送先≫ 〒606-8585　京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地 京都工芸繊維大学　入試課大学院入試係	○出願期間最終日までの消印(日本国内)があるものについて受け付けます。 ○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角２封筒に貼り付けて必要書類を封入し、郵便局窓口から、必ず簡易書留・速達で郵送してください。

⑶ 希望指導教員への研究内容等の事前相談

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、自身が本学大学院で行いたい研究内容が、希望する研究室の教員が指導可能なものであるか、希望指導教員にあらかじめ連絡・相談してください。各教員の連絡先は大学院入試最新情報ページ(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)の「教員一覧」をご覧ください。併せて、京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻への出願にあたっては、専攻長にも、出願する旨をあらかじめ連絡してください。

事前の相談をせずに入学した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。また、事前の相談を行った場合でも、研究室配属の選考の結果、専攻によっては、希望の研究室に配属されない可能性があります。

なお、研究室の希望状況は入試の合否には一切関係ありません。

⑷ 出願書類

・出願書類は、入学願書印刷時に付番される「受験番号」をそれぞれ右上に記載してから提出してください。
・下記欄で★印のある書類は、本学ホームページより様式をダウンロードしてください。
https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_m_yoko.html

(1)	入学願書	インターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『４　検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。電子システム工学専攻の出願者は、入学後の研究内容について入力してください。
(2)	学業成績証明書	学生証を持参の上、学務課の証明書発行機で発行してください。【コピー不可】
(3)	卒業見込証明書	学生証を持参の上、学務課の証明書発行機で発行してください。【コピー不可】
(4)	志望理由書★ ※該当の専攻のみ	応用生物学専攻に出願する人は、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(5)	研究計画書★ ※該当の専攻のみ	デザイン学専攻、建築学専攻、京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻に出願する人は、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(6)	希望指導教員調査票★ ※該当の専攻のみ	先端ファイブロ科学専攻及びバイオベースマテリアル学専攻に出願する人は、希望指導教員名等を記入の上、提出してください。
(7)	ＴＯＥＩＣ個人用公式認定証（デジタル）	外国語の筆記試験に代えてＴＯＥＩＣを課している専攻に出願する人は、TOEIC Listening & Readingデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたもの）を提出してください。公式認定証の原本は、原則として、受け付けられません。デジタル公式認定証が発行されない場合は、入試課大学院入試係（巻末問合せ先参照）に出願期間までにご相談ください。 なお、ＴＯＥＩＣスコアの有効期限は、ＴＯＥＩＣ受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、２年以内とします。 また、カレッジＴＯＥＩＣ等の団体特別受験制度（ＩＰテスト）では、スコアの公式認定証が発行されないので、同テストによるスコアは認めません。
(8)	その他	ア．外国籍の方は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示またはコピーを提出してください。なお、在留資格を有していない場合は、パスポートを提示またはコピーを提出してください。 イ．授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください（30 ページ参照）。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。
※出願書類に係る個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。
※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

4　検定料の支払

３０，０００円

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が**不要**または**免除されることがある**ため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

対象者	条件	必要書類等	検定料
国費外国人留学生	奨学金支給期間延長の申請予定者	国費外国人留学生であることを証明する書類	不要
大規模な風水害等により被害（居住家屋の半壊等）を受けた人	風水害等の発生が出願期間前の概ね１年以内	別途指示します	全額免除の場合あり

5　障害等のある人への受験上・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等があり、受験上の配慮を必要とする人は、以下により受験上の配慮申請書を提出してください。なお、期限後に不慮の事故等により受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにメール・電話等により相談してください。

① 申請期限

原則として、出願期間開始日の１週間前まで。

② 申請方法および提出書類

受験上の配慮申請書（医師の診断書等必要書類添付）を提出してください。詳細は、本学ホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html）をご確認ください。なお、必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方との面談等を行います。

③ 連絡先

巻末問合せ先（大学院入試全般について）参照

※なお、修学上の配慮については、事前にアクセシビリティ・コミュニケーション支援センターにご相談ください。

問合せ先：csr@jim.kit.ac.jp

参考URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/

6　出願についての注意事項

⑴　次の場合には、出願書類を受理しません。

①インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

②出願書類がそろっていない場合

③出願書類の記載が不完全な場合

④検定料が支払われていない場合

⑵　出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

⑶　出願書類は原則返還しません。

また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

①検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合

②検定料を誤って二重に支払った場合

※ 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

⑷　出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

7　選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

8　学力検査日時及び検査方法

(1) 学力検査日時及び科目

専　　攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内　　容
応用生物学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	100	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料創製化学専攻	令和８年 ７月４日(土)	口述試験	9：30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	令和８年 ７月４日(土)	口述試験	9：30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	令和８年 ７月４日(土)	口述試験	9：30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	令和８年 ７月４日(土)	口述試験	9：30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
電子システム工学専攻	令和８年 ７月４日(土)	口述試験	13：00～	100	専門科目に対する基礎学力を問うことがある。
情報工学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	小論文 9：30～11：30 (120分)	200	基礎学力を問うことがある。
機械物理学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	300	専門科目に対する基礎学力を問うことがある。
機械設計学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	300	専門科目に対する基礎学力を問うことがある。

(次ページへ続く)

3 × 3特別入試

専　　攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内　　容
デザイン学専攻	令和８年 ７月４日(土)	口述試験	10：00～	100	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。
		（注）本試験は、論文型及び特定課題型のみを対象としたものです。			
建築学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	大学院における研究計画及び関連する専門的知識または持参作品について実施する。
京都工芸繊維大学 ・チェンマイ大学 国際連携建築学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	100	大学院における研究計画及び関連する専門的知識または持参作品について実施する。
先端ファイブロ 科学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施し、研究意欲と表現力も問う。
バイオベース マテリアル学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	10：00～	200	オンライン形式で実施する（1人10分程度）。志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。 なお、口述試験接続テスト（本専攻と各受験者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認※5分程度）を、下記のいずれかの日時に実施する。 令和8年6月29日(月)　12:00～14:00、 令和8年6月30日(火)　12:00～14:00

(2) 専攻ごとの注意事項

■デザイン学専攻

口述試験の際、A3 用紙の大きさで３枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

■建築学専攻

口述試験の際、研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な２点以上の説明できる図面、写真等（サイズはＡ３程度）を面接担当教員用として「3 部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は４部）持参してください。なお、口述試験で使用した説明資料は口述試験終了後に「１部」回収します。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

■京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻

口述試験の際、研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な２点以上の説明できる図面、写真等（サイズはＡ３程度）を面接担当教員用として「３部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は４部）持参してください。なお、口述試験で使用した説明資料は口述試験終了後に「１部」回収します。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

また、論文型、特定課題型いずれにおいても、指定の期日までに、口述試験で使用する資料をPDFデータ

にして事前に提出してください。

提出先：京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻長

※提出期日及び提出先（メールアドレス）は、事前相談の際に個別にお知らせします。

■バイオベースマテリアル学専攻

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ（https://www.biobased.kit.ac.jp/）に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して口述試験接続テスト 3 日前までに出願時に登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075－724－7162
e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の 15 分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から 20 分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

II　大学卒業見込者

1　募集人員

学　域	専　　攻	募 集 人 員
応用生物学域	応用生物学専攻	若干名
物質・材料科学域	材料創製化学専攻	若干名
	材料制御化学専攻	若干名
	物質合成化学専攻	若干名
	機能物質化学専攻	若干名
設計工学域	電子システム工学専攻	若干名
	情報工学専攻	若干名
	機械物理学専攻	※３名
	機械設計学専攻	※３名
デザイン科学域	デザイン学専攻	若干名
	建築学専攻	若干名
繊維学域	先端ファイブロ科学専攻	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	若干名

※機械物理学専攻及び機械設計学専攻の募集人員には、高等専門学校専攻科修了見込者を含む。

《注》

(1) 募集人員は、あくまで合格の目安を示すもので、合格者の数を確約するものではありません。
選抜の結果によっては、合格者が募集人員に対して増減する場合または合格者がない場合があります。

(2) 機械物理学専攻では機械設計学専攻を、機械設計学専攻では機械物理学専攻を第２志望とすることが可能です。第１志望の専攻で合格とならなかった場合、第２志望の専攻で合格することがあります。

(3) 機械物理学専攻及び機械設計学専攻の推薦入学特別入試の入学手続者数が募集人員に対して増減した場合は、一般入試第Ｉ期の募集人員を減らす、あるいは増やすなど調整を行います。

2　出願資格及び推薦要件

大学を令和 9 年 3 月までに卒業見込みであり、在籍している大学の学長または学部長が、学業及び人物ともに優れ、将来、研究者または技術者あるいは高度専門職業人として有望であると責任をもって推薦できる人で、かつ、合格した場合には入学を確約できる人とします。

なお、本学の課程に在籍する卒業見込み者の出願資格については、次の表を確認してください。

区分	指導教員	出願資格		
		自課程と接続する専攻《注》	自課程と接続しない専攻	先端ファイブロ科学専攻・バイオベースマテリアル学専攻
一般プログラム		×（※）	○	○
地域創生Tech Program	課程担当教員	×（※）	○	○
	地域Tech担当教員	○	○	○

(※)一般プログラムの人及び地域創生Tech Programの卒業プロジェクトを課程担当教員の指導のもとで履修する人で、自課程と接続する専攻への推薦入学特別入試の受験を希望する場合は、２ページを参照の上、「3×3特別入試」へ出願してください。

《注》 自課程と接続する専攻については、次ページの表を確認してください。

大学卒業見込者

課　　程	専　　攻
応用生物学課程	応用生物学専攻
応用化学課程	材料創製化学専攻 材料制御化学専攻 物質合成化学専攻 機能物質化学専攻
電子システム工学課程	電子システム工学専攻
情報工学課程	情報工学専攻
機械工学課程	機械物理学専攻 機械設計学専攻
デザイン・建築学課程	デザイン学専攻 建築学専攻

3　出願手続

⑴　出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間）

令和 8 年 5 月 21 日（木）から令和 8 年 5 月 27 日（水）まで

上記の期間内に本学のインターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。

⑵　書類提出方法

入試課へ持参して提出する場合 ≪入試課≫ 松ヶ崎キャンパス 3 号館 1 階	○土曜日・日曜日・祝日は受付しておりません。 ○受付時間は 9 時から 12 時まで及び 13 時から 16 時までです。
郵送で提出する場合 ≪郵送先≫ 〒606-8585　京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 番地 京都工芸繊維大学　入試課大学院入試係	○出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。 ○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角 2 封筒に貼り付けて必要書類を封入し、郵便局窓口から、必ず簡易書留・速達で郵送してください。

⑶　希望指導教員への研究内容等の事前相談

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、自身が本学大学院で行いたい研究内容が、希望する研究室の教員が指導可能なものであるか、希望指導教員にあらかじめ連絡・相談してください。各教員の連絡先は大学院入試最新情報ページ　(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)の「教員一覧」をご覧ください。

事前の相談をせずに入学した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。また、事前の相談を行った場合でも、研究室配属の選考の結果、専攻によっては、希望の研究室に配属されない可能性があります。なお、研究室の希望状況は入試の合否には一切関係ありません。

大学卒業見込者

⑷　出願書類

・出願書類は、入学願書印刷時に付番される「受験番号」をそれぞれの右上に記載してから提出してください。

・下記欄で★印のある書類は、本学ホームページより様式をダウンロードしてください。

https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_m_yoko.html

(1)	入学願書	インターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『4　検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。電子システム工学専攻の出願者は、入学後の研究内容について入力してください。
(2)	学業成績証明書	在籍大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。【コピー不可】
(3)	卒業見込証明書	在籍大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。【コピー不可】
(4)	推薦書★	指導教員の所見に基づき、在籍大学の学長または学部長が作成したもので、厳封されたものを提出してください。 本学卒業見込の人は、学務課学務調査係に作成を依頼してください。【コピー不可】
(5)	志望理由書★ ※該当の専攻のみ	応用生物学専攻に出願する人は、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(6)	研究計画書★ ※該当の専攻のみ	デザイン学専攻または建築学専攻に出願する人は、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(7)	希望指導教員調査票★ ※該当の専攻のみ	先端ファイブロ科学専攻及びバイオベースマテリアル学専攻に出願する人は、希望指導教員名等を記入の上、提出してください。
(8)	ＴＯＥＩＣ個人用公式認定証 （デジタル）	TOEIC Listening & Readingデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたもの）を提出してください。 公式認定証の原本は、原則として、受け付けられません。デジタル公式認定証が発行されない場合は、入試課大学院入試係（巻末問合せ先参照）に出願期間までにご相談ください。 なお、ＴＯＥＩＣスコアの有効期限は、ＴＯＥＩＣ受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、2 年以内とします。 また、カレッジＴＯＥＩＣ等の団体特別受験制度（ＩＰテスト）では、スコアの公式認定証が発行されないので、同テストによるスコアは認めません。 ※条件を満たす人はＴＯＥＩＣ個人用公式認定証の提出が不要な場合があります。 詳細は11ページの『７．選抜方法』を確認してください。
(9)	その他	ア．外国籍の方は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示またはコピーを提出してください。なお、在留資格を有していない場合は、パスポートを提示またはコピーを提出してください。 イ．授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください（30 ページ参照）。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

※出願書類に係る個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

4　検定料の支払

３０，０００円

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、次ページの表に該当する人は、検定料が**不要**または**免除されることがある**ため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

大学卒業見込者

対象者	条件	必要書類等	検定料
国費外国人留学生	奨学金支給期間延長の 申請予定者	国費外国人留学生であることを 証明する書類	不要
大規模な風水害等により 被害（居住家屋の半壊等） を受けた人	風水害等の発生が 出願期間前の概ね１年以内	別途指示します	全額免除の 場合あり

5　障害等のある人への受験上・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等があり、受験上の配慮を必要とする人は、以下により受験上の配慮申請書を提出してください。なお、期限後に不慮の事故等により受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにメール・電話等により相談してください。

① 申請期限

原則として、出願期間開始日の１週間前まで。

② 申請方法および提出書類

受験上の配慮申請書（医師の診断書等必要書類添付）を提出してください。詳細は、本学ホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html）をご確認ください。なお、必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方との面談等を行います。

③ 連絡先

巻末問合せ先（大学院入試全般について）参照

※なお、修学上の配慮については、事前にアクセシビリティ・コミュニケーション支援センターにご相談ください。

問合せ先：csr@jim.kit.ac.jp

参考URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/

6　出願についての注意事項

⑴ 次の場合には、出願書類を受理しません。

①　インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

②　出願書類がそろっていない場合

③　出願書類の記載が不完全な場合

④　検定料が支払われていない場合

⑵ 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

⑶ 出願書類は原則返還しません。

また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

①　検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合

②　検定料を誤って二重に支払った場合

※　検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

⑷ 出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

7　選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。学力検査は、専攻ごとの指定がない限り、日本語で実施します。

なお、次の条件を満たす人については、学力検査科目「外国語」を課さない場合があります。

・主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である。

上記に該当すると思われる方は、次の日時までに電子メールにて入試課大学院入試係にご相談願います。

その際、原則として、大学・学部において「主として英語による教育を受けた」ことを証明する書類が必要になります。

なお、他大学院の博士前期課程（修士課程）を英語により修了した場合であっても、「主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である」ことを示す証明書を提出してください。

大学卒業見込者

・相談期日：令和８年４月20日（月）
・相談方法：電子メール（innyushi@kit.ac.jp）

大学卒業見込者

8　学力検査日時及び検査方法

⑴ 学力検査日時及び科目

専　　攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内　　容
応用生物学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	100	応用生物学について実施する。
材料創製化学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
電子システム工学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	小論文 9：30～11：30 （120分）	100	基礎学力を問うことがある。
		口述試験	13：00～	200	履修計画、希望研究分野についての知識と展望等について問う。
情報工学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	小論文 9：30～11：30 （120分）	100	基礎学力を問うことがある。
		口述試験	13：00～	200	履修計画、希望研究分野についての知識と展望等について問う。

（次ページへ続く）

大学卒業見込者

専　　攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内　　容
機械物理学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	300	専門科目に対する基礎学力について問う。
機械設計学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	300	専門科目に対する基礎学力について問う。
デザイン学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。 試験は、英語で行う場合がある。
建築学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	大学院における研究計画及び関連する専門的知識または持参作品について実施する。
先端ファイブロ科学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施し、研究意欲と表現力も問う。
バイオベースマテリアル学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	10：00～	200	オンライン形式で実施する（1人10分程度）。志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。 なお、口述試験接続テスト（本専攻と各受験者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認※5分程度）を、下記のいずれかの日時に実施する。 令和8年6月29日(月)　12:00～14:00、 令和8年6月30日(火)　12:00～14:00

⑵ **専攻ごとの注意事項**

■デザイン学専攻

口述試験の際、A3 用紙の大きさで３枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

■建築学専攻

口述試験の際、研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な２点以上の説明できる図面、写真等（サイズはＡ３程度）を面接担当教員用として「3 部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は４部）持参してください。なお、口述試験で使用した説明資料は口述試験終了後に「１部」回収します。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

大学卒業見込者

■バイオベースマテリアル学専攻

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ（https://www.biobased.kit.ac.jp/）に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して口述試験接続テスト 3 日前までに出願時に登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075－724－7162
e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の 15 分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から 20 分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

III　高等専門学校専攻科修了見込者

1　募集人員

学　域	専　　攻	募 集 人 員
応用生物学域	応用生物学専攻	若干名
物質・材料科学域	材料創製化学専攻	若干名
	材料制御化学専攻	若干名
	物質合成化学専攻	若干名
	機能物質化学専攻	若干名
設計工学域	電子システム工学専攻	若干名
	情報工学専攻	若干名
	機械物理学専攻	※３名
	機械設計学専攻	※３名
デザイン科学域	デザイン学専攻	若干名
	建築学専攻	若干名
繊維学域	先端ファイブロ科学専攻	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	若干名

※機械物理学専攻及び機械設計学専攻の募集人員には、大学卒業見込者を含む。

《注》

(1) 募集人員は、あくまで合格の目安を示すもので、合格者の数を確約するものではありません。
　選抜の結果によっては、合格者が募集人員に対して増減する場合または合格者がない場合があります。

(2) 機械物理学専攻では機械設計学専攻を、機械設計学専攻では機械物理学専攻を第２志望とすることが可能です。第１志望の専攻で合格とならなかった場合、第２志望の専攻で合格することがあります。

(3) 機械物理学専攻及び機械設計学専攻の推薦入学特別入試の入学手続者数が募集人員に対して増減した場合は、一般入試第Ⅰ期の募集人員を減らす、あるいは増やすなど調整を行います。

2　出願資格及び推薦要件

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から、学士の学位を令和 9 年 3 月までに授与される見込みであり、在籍している高等専門学校長が、学業及び人物ともに優れ、将来、研究者または技術者あるいは高度専門職業人として有望であると責任をもって推薦できる人で、かつ、合格した場合には入学を確約できる人とします。

3　出願手続

⑴ 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間）

令和８年５月 21 日（木）から令和８年５月 27 日（水）まで

上記の期間内に本学のインターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料の支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。

高等専門学校専攻科修了見込者

⑵ 書類提出方法

入試課へ持参して提出する場合 ≪入試課≫松ヶ崎キャンパス３号館１階	○土曜日・日曜日・祝日は受付しておりません。 ○受付時間は 9 時から 12 時まで及び 13 時から 16 時までです。
郵送で提出する場合 ≪郵送先≫ 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地 京都工芸繊維大学　入試課大学院入試係	○出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。 ○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角２封筒に貼り付けて必要書類を封入し、郵便局窓口から、必ず簡易書留・速達で郵送してください。

⑶ 希望指導教員への研究内容等の事前相談

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、自身が本学大学院で行いたい研究内容が、希望する研究室の教員が指導可能なものであるか、希望指導教員にあらかじめ連絡・相談してください。各教員の連絡先は大学院入試最新情報ページ(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)の「教員一覧」をご覧ください。

事前の相談をせずに入学した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。また、事前の相談を行った場合でも、研究室配属の選考の結果、専攻によっては、希望の研究室に配属されない可能性があります。なお、研究室の希望状況は入試の合否には一切関係ありません。

⑷ 出願書類

・出願書類は、入学願書印刷時に付番される「受験番号」をそれぞれ右上に記載してから提出してください。

・下記欄で★印のある書類は、本学ホームページより様式をダウンロードしてください。

https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_m_yoko.html

(1)	入学願書	インターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『4　検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。電子システム工学専攻の出願者は、入学後の研究内容について入力してください。
(2)	学業成績証明書	専攻科及び専攻科入学前の学校（高等専門学校または短期大学等）の両方が必要です。在籍学校の学校長等が作成したものを提出してください。【コピー不可】
(3)	修了見込証明書	在籍学校の学校長等が作成したものを提出してください。【コピー不可】
(4)	学位授与（申請受理）証明書	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与証明書、または学位授与申請受理証明書を提出してください。これから申請予定の人は在籍学校の学校長が作成した学位授与申請予定証明書を提出してください。【コピー不可】
(5)	推薦書★	指導教員の所見に基づき、在籍学校の学校長が作成したもので、厳封されたものを提出してください。
(6)	志望理由書★ ※該当の専攻のみ	応用生物学専攻に出願する人は、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(7)	研究計画書★ ※該当の専攻のみ	デザイン学専攻または建築学専攻に出願する人は、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(8)	希望指導教員調査票★ ※該当の専攻のみ	先端ファイブロ科学専攻及びバイオベースマテリアル学専攻に出願する人は、希望指導教員名等を記入の上、提出してください。

(9) ＴＯＥＩＣ個人用公式認定証（デジタル）	TOEIC Listening & Reading デジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたもの）を提出してください。 公式認定証の原本は、原則として、受け付けられません。デジタル公式認定証が発行されない場合は、入試課大学院入試係（巻末問合せ先参照）に出願期間までにご相談ください。 なお、ＴＯＥＩＣスコアの有効期限は、ＴＯＥＩＣ受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、2 年以内とします。 また、カレッジＴＯＥＩＣ等の団体特別受験制度（ＩＰテスト）では、スコアの公式認定証が発行されないので、同テストによるスコアは認めません。
(10) その他	ア．外国籍の方は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示またはコピーを提出してください。なお、在留資格を有していない場合は、パスポートを提示またはコピーを提出してください。 イ．授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください（30 ページ参照）。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

※出願書類に係る個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び奨学金申請者の採用推薦専攻のみに使用します。

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

4　検定料の支払

３０，０００円

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が**不要**または**免除されることがある**ため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

対象者	条件	必要書類等	検定料
国費外国人留学生	奨学金支給期間延長の申請予定者	国費外国人留学生であることを証明する書類	不要
大規模な風水害等により被害（居住家屋の半壊等）を受けた人	風水害等の発生が出願期間前の概ね 1 年以内	別途指示します	全額免除の場合あり

5　障害等のある人への受験上・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等があり、受験上の配慮を必要とする人は、以下により受験上の配慮申請書を提出してください。なお、期限後に不慮の事故等により受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにメール・電話等により相談してください。

① 申請期限

原則として、出願期間開始日の 1 週間前まで。

② 申請方法および提出書類

受験上の配慮申請書（医師の診断書等必要書類添付）を提出してください。詳細は、本学ホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html）をご確認ください。なお、必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方との面談等を行います。

③ 連絡先

巻末問合せ先（大学院入試全般について）参照

※なお、修学上の配慮については、事前にアクセシビリティ・コミュニケーション支援センターにご相談ください。

問合せ先：csr@jim.kit.ac.jp

参考URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/

高等専門学校専攻科修了見込者

6　出願についての注意事項

⑴ 次の場合には、出願書類を受理しません。

①　インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

②　出願書類がそろっていない場合

③　出願書類の記載が不完全な場合

④　検定料が支払われていない場合

⑵　出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

⑶　出願書類は原則返還しません。

また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

①　検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合

②　検定料を誤って二重に支払った場合

※　検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

⑷ 出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

7　選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

高等専門学校専攻科修了見込者

8　学力検査日時及び検査方法

⑴　学力検査日時及び科目

専　　攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内　　容
応用生物学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	100	応用生物学について実施する。
材料創製化学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
電子システム工学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	小論文 9：30～11：30 （120分）	100	基礎学力を問うことがある。
		口述試験	13：00～	200	履修計画、希望研究分野についての知識と展望等について問う。
情報工学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	小論文 9：30～11：30 （120分）	100	基礎学力を問うことがある。
		口述試験	13：00～	200	履修計画、希望研究分野についての知識と展望等について問う。

（次ページへ続く）

高等専門学校専攻科修了見込者

専　　攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内　　容
機械物理学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	300	専門科目に対する基礎学力について問う。
機械設計学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、す評価する。
		口述試験	13：00～	300	専門科目に対する基礎学力について問う。
デザイン学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。 試験は、英語で行う場合がある。
建築学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	大学院における研究計画及び関連する専門的知識または持参作品について実施する。
先端ファイブロ科学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施し、研究意欲と表現力も問う。
バイオベースマテリアル学専攻	令和８年 ７月４日(土)		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	10：00～	200	オンライン形式で実施する（1人10分程度）。志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。 なお、口述試験接続テスト（本専攻と各受験者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認※5分程度）を、下記のいずれかの日時に実施する。 令和8年6月29日(月)　12:00～14:00、 令和8年6月30日(火)　12:00～14:00

⑵　専攻ごとの注意事項

■デザイン学専攻

口述試験の際、A3 用紙の大きさで３枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

■建築学専攻

口述試験の際、研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料、または建築設計作品のうち代表的な２点以上の説明できる図面、写真等（サイズはＡ３程度）を面接担当教員用として「3 部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は４部）持参してください。なお、口述試験で使用した説明資料は口述試験終了後に「１部」回収します。

ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

高等専門学校専攻科修了見込者

■バイオベースマテリアル学専攻

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ（https://www.biobased.kit.ac.jp/）に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して口述試験接続テスト 3 日前までに出願時に登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075－724－7162
e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の 15 分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から 20 分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

自己推薦特別入試

学内外の多くの学部・学科から優秀な資質を持つ多様な学生を受け入れることを目的として、従来の学力検査によらない選抜方法として、勉学と研究に深い関心と熱意を有する人に門戸を広げた自己推薦特別入試を実施します。

すなわち、本学及び他大学等出身者で、学問・研究に積極的かつ優秀な学生であれば入学を歓迎するというもので、その選考は出願書類の審査及び口述試験によって行う制度です。

1　募集人員

学　域	専　　攻	募 集 人 員
繊維学域	先端ファイブロ科学専攻	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	10名

《注》

(1) 募集人員は、あくまで合格の目安を示すもので、合格者の数を確約するものではありません。
選抜の結果によっては、合格者が募集人員に対して増減する場合または合格者がない場合があります。

(2) バイオベースマテリアル学専攻の入学手続者数が募集人員に対して増減した場合は、一般入試第Ⅰ期の募集人員を減らす、あるいは増やすなど調整を行います。

2　出願資格及び推薦要件

大学を令和 9 年 3 月までに卒業または卒業見込み、あるいは独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から、学士の学位を令和 9 年 3 月までに授与された、または授与される見込みであり、勉学と研究に深い関心と熱意を有し、研究者または技術者あるいは高度専門職業人を目指して研究活動に意欲的に取り組める人で、かつ、合格した場合には入学を確約できる人とします。

3　出願手続

⑴ 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間）

令和 8 年 5 月 21 日（木）から令和 8 年 5 月 27 日（水）まで

上記の期間内に本学のインターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料の支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。

⑵ 書類提出方法

入試課へ持参して提出する場合 ≪入試課≫松ヶ崎キャンパス 3 号館 1 階	○土曜日・日曜日・祝日は受付しておりません。 ○受付時間は 9 時から 12 時まで及び 13 時から 16 時までです。
郵送で提出する場合 ≪郵送先≫ 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 番地 京都工芸繊維大学　入試課大学院入試係	○出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。 ○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角 2 封筒に貼り付けて必要書類を封入し、郵便局窓口から、必ず簡易書留・速達で郵送してください。

⑶ 希望指導教員への研究内容等の事前相談

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、自身が本学大学院で行いたい研究内容が、希望する研究室の教員が指導可能なものであるか、希望指導教員にあらかじめ連絡・相談してください。各教員の連絡先は大学院入試最新情報ページ(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)の「教員一覧」をご覧ください。

事前の相談をせずに入学した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。なお、研究室の希望状況は入試の合否には一切関係ありません。

⑷ 出願書類

・出願書類は、入学願書印刷時に付番される「受験番号」をそれぞれ右上に記載してから提出してください。

・下記欄で★印のある書類は、本学ホームページより様式をダウンロードしてください。

https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_m_yoko.html

(1)	入学願書	インターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『4　検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。
(2)	学業成績証明書 【コピー不可】	在籍または出身大学等の学長もしくは学部長が作成したものを提出してください。 《注》独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から、学士の学位を令和8年3月までに授与された、または授与される見込みである場合は、最終出身学校の学校長等が作成したものとし、高等専門学校または短期大学（以下「高等専門学校等」という）の専攻科に在籍中または出身の人は、高等専門学校等及び専攻科の両方を提出してください。
(3)	卒業見込証明書 または卒業証明書 【コピー不可】	在籍または出身大学等の学長もしくは学部長が作成したものを提出してください。 《注》独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から、学士の学位を令和8年3月までに授与された、または授与される見込みである場合は、最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書とし、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与（申請受理）証明書または最終学校の学校長等が証明した学位授与申請予定証明書も併せて提出してください。
(4)	自己推薦書★	必要事項を記入のうえ、提出してください。
(5)	希望指導教員調査票★	希望指導教員名等を記入の上、提出してください。
(6)	口述試験資料★ ※該当の専攻のみ	バイオベースマテリアル学専攻に出願する人は、下記の2つの課題について指定様式を用いて1,000字程度ずつ記述してください。 1.　卒業研究(行っていない場合はこれまでの修学内容)について 2.　バイオベースマテリアル学専攻における関心の高い研究について ＊作成にあたっての留意事項 図表を含めても良い。
(7)	ＴＯＥＩＣ個人用 公式認定証 （デジタル）	TOEIC Listening & Readingデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたもの）を提出してください。 公式認定証の原本は、原則として、受け付けられません。デジタル公式認定証が発行されない場合は、入試課大学院入試係（巻末問合せ先参照）に出願期間までにご相談ください。 なお、ＴＯＥＩＣスコアの有効期限は、ＴＯＥＩＣ受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、2 年以内とします。 また、カレッジＴＯＥＩＣ等の団体特別受験制度（ＩＰテスト）では、スコアの公式認定証が発行されないので、同テストによるスコアは認めません。 ※条件を満たす人はＴＯＥＩＣ個人用公式認定証の提出が不要な場合があります。詳細は26ページの『7. 選抜方法』を確認してください。
(8)	その他	ア. 外国籍の方は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示またはコピーを提出してください。なお、在留資格を有していない場合は、パスポートを提示またはコピーを提出してください。 イ. 授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください（30 ページ参照）。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

※出願書類に係る個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

4　検定料の支払

３０，０００円

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が**不要**または**免除されることがある**ため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

対象者	条件	必要書類等	検定料
国費外国人留学生	奨学金支給期間延長の申請予定者	国費外国人留学生であることを証明する書類	不要
大規模な風水害等により被害（居住家屋の半壊等）を受けた人	風水害等の発生が出願期間前の概ね１年以内	別途指示します	全額免除の場合あり

5　障害等のある人への受験上・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等があり、受験上の配慮を必要とする人は、以下により受験上の配慮申請書を提出してください。なお、期限後に不慮の事故等により受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにメール・電話等により相談してください。

① 申請期限

原則として、出願期間開始日の１週間前まで。

② 申請方法および提出書類

受験上の配慮申請書（医師の診断書等必要書類添付）を提出してください。詳細は、本学ホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html）をご確認ください。なお、必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方との面談等を行います。

③ 連絡先

巻末問合せ先（大学院入試全般について）参照

※なお、修学上の配慮については、事前にアクセシビリティ・コミュニケーション支援センターにご相談ください。

問合せ先：csr@jim.kit.ac.jp

参考URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/

6　出願についての注意事項

⑴　次の場合には、出願書類を受理しません。

①　インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

②　出願書類がそろっていない場合

③　出願書類の記載が不完全な場合

④　検定料が支払われていない場合

⑵　出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

⑶　出願書類は原則返還しません。

また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

①　検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合

②　検定料を誤って二重に支払った場合

※　検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

⑷　出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

7　選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。学力検査は、専攻ごとの指定がない限り、日本語で実施します。

なお、次の条件を満たす人については、学力検査科目「外国語」を課さない場合があります。

・主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である。

上記に該当すると思われる方は、次の日時までに電子メールにて入試課大学院入試係にご相談願います。

その際、原則として、大学・学部において「主として英語による教育を受けた」ことを証明する書類が必要になります。

なお、他大学院の博士前期課程（修士課程）を英語により修了した場合であっても、「主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である」ことを示す証明書を提出してください。

・相談期日：令和8年４月20日（月）

・相談方法：電子メール（innyushi@kit.ac.jp）

8　学力検査日時及び検査方法

⑴　学力検査日時及び科目

専　　攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内　　容
先端ファイブロ科学専攻	令和８年７月４日(土)		外国語（筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13：00～	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施する。また、提出された自己推薦書の内容について口頭で説明を求め、それに関連する質問をする。研究意欲と表現力も重視して評価する。
バイオベースマテリアル学専攻	令和８年７月４日(土)		外国語（筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	10：00～	200	オンライン形式で実施する（1人30分程度）。志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。また、提出された自己推薦書の内容について5分間程度口頭で説明を求め、それに関連する質問をする。 なお、口述試験接続テスト（本専攻と各受験者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認※５分程度）を、下記のいずれかの日時に実施する。 令和8年6月29日(月)　12:00～14:00、 令和8年6月30日(火)　12:00～14:00

⑵　専攻ごとの注意事項

■バイオベースマテリアル学専攻

出願者数が30名を超えた場合には、事前の書類選考を行います。

なお、書類選考の有無については、出願締切の５営業日後までに本学ホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）上での出願者数の公表をもって代えます。書類選考を行った場合は、その結果を口述試験接続テスト３日前までに出願時に登録したメールアドレスに通知します。

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ（https://www.biobased.kit.ac.jp/）に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して（書類選考を行った場合は書類選考通過者に対して）口述試験接続

テスト３日前までに出願時に登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075－724－7162
e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の15分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から20分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

1　学力検査場所・受験についての注意事項等

⑴　試験場

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地）

※バイオベースマテリアル学専攻はオンライン形式で実施しますので、来学の必要はありません。オンライン口述試験の詳細については「各入学試験における専攻ごとの注意事項」をご確認ください。（３×３特別入試：7ページ、大学卒業見込者：15ページ、高等専門学校専攻科修了見込者：22ページ、自己推薦特別入試：　26～27ページ）

⑵　受験についての注意事項等

1)　持参物

試験には、次の物を持参してください。

①　インターネット出願システムより印刷した受験票
②　筆記用具（HB 程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム）
③　時計（携帯電話や計時以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。）

※試験中机の上に置けるもの

受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り（カッターナイフ、電動式及び大型のものは不可）、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身のみ袋から取り出したもの）、目薬、マスク

2)　受験上の留意事項

①　受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。
②　試験当日は、各科目の試験開始 15 分前までに所定の試験室または口述試験控室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
③　試験開始後、20 分以上遅刻して所定の試験室または口述試験控室に到着した場合は、受験することができません。
④　指定の科目等を１科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
⑤　試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または試験監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。
⑥　身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。
⑦　試験当日、大学到着後に体調不良が発生した場合は、入試課または試験監督者に申し出てください。なお、症状によっては受験を認めない場合があります。
⑧　試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、試験監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が次の試験時間の遅刻限度 20 分以上を経過した場合は、当該試験の受験も認めません。
⑨　試験中に水分補給をしたい場合は、試験監督者の許可を得た上で行ってください。
⑩　試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。
⑪　口述試験においては、控室での待機が長時間になる場合がありますので、持参した飲み物の飲用及び試験監督者の許可を得た一般書物（小説など）を読んでも構いません。なお、試験中及び口述試験の待機時を含めて、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・タブレット端末などの通信機器は使用できません。

3)　禁止事項

①　試験中は、上記「１）持参物」中の※で記載したもの、並びに試験監督者の指示するもの以外は机上に置いてはいけません。ただし、受験上の配慮申請を事前に行い許可されたものは置くことができます。

②　計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。

③　携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。

④　文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。

⑤　試験室内では入室から退室まで（休憩時間を除く）、事前に許可されている場合を除き、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。

⑥　試験開始以降、試験室を退室するまで（休憩時間を除く）、試験当日に専攻から貸与される物品や、事前に許可された場合を除いて、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書など）は使用できません。なお、イヤホンは、使用の有無にかかわらず、耳に装着していれば、不正行為となります。

⑦　事前に許可されている場合を除き、各建物のエレベーターの使用を禁止します。

4)　その他

①　試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/）でお知らせします。

②　その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。

2　合格発表

令和８年７月15日（水）17時（予定）に合格者の受験番号を本学のホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）に発表します。

なお、合格通知書は合格通知サイト（WEBシステム）からダウンロードしてください。合格通知サイトへのアクセス方法は、合格発表時に上記URLにてお知らせします。

3　入学手続

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は、本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/test_index/successfulapplicants/）からダウンロードしてください。

入学手続期間　令和８年７月21日（火）から令和８年７月27日（月）（17時必着）まで

4　入学に要する経費

⑴　入学料　　２８２，０００円

⑵　授業料　　２６７，９００円（半期）５３５，８００円（年額）

⑶　学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料　　2年間の保険料　２，４３０円（予定）

⑷　留意事項

①　入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。

②　入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。

③　授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は４月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。

④　その他、必要に応じて納入する諸経費があります。

⑤　納入方法等の詳細については、上記に記載の入学手続書類にて案内します。

⑥　納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

⑦　入学手続時に入学に要する経費を納入した後で、令和９年３月31日（水）17時までに入学を辞退した場合は、申し出により入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係に問い合わせして

ください。

5　入学料・授業料の免除等制度

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または一部を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。
令和９年度前期分の授業料免除の申請方法は、外国人留学生（在留資格が「留学」の人、及び本学入学時までに「留学」の在留資格を取得する人）とそれ以外の人とで次のとおり異なります。
詳細は、学生支援・社会連携課経済支援係へ問い合わせてください。

■令和９年度前期分の授業料免除の申請方法

⑴ 外国人留学生（在留資格が「留学」の人、または本学に入学するまでに「留学」の資格を取得する人）のうち、下記のいずれかに該当する人

・私費外国人留学生
・出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人、またはその申請をする予定のある人も含まれます）

出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

① 申請期間

入試の出願期間に、「② 申請書類」を出願書類と一緒に提出してください。出願期間後の申請は受け付けません。出願期間の詳細は、各入試種別の『３ 出願手続 (1)出願期間』を参照してください。

② 申請書類

・授業料免除申請書類一式（本学所定様式）
本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/）よりダウンロードしてください。

③ 選考結果の通知

合格発表日に、合格通知サイトから免除選考結果通知書をダウンロードしてください。

⑵ 上記⑴以外の人

入学手続後に申請を受け付けます（申請受付日は令和９年３月の予定）。申請方法は、入学手続書類で確認してください。

6　奨学金制度

⑴ 日本学生支援機構奨学金

学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学が困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構より奨学金の貸与を受けることができます（外国人留学生を除く）。奨学金の種類には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があります。

＜返還免除制度＞

日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた者であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または一部の返還が免除される制度があります。また、博士前期課程（修士課程）の入学前に返還免除が内定（決定は貸与終了時）する制度があります。

⑵ 授業料後払い制度

大学院の修士段階（博士前期課程）の授業料について、要件を満たす学生を対象に国が授業料を立て替え、返還は修了後の所得に応じて「後払い」とする制度です。あわせて、生活費奨学金の貸与を受けることもできます。

⑶ 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。願い出により選考のうえ、奨学金の貸与または給付を受けることができます。

7　安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人京都工芸繊維大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供や研究者・学生の受け入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当するおそれのある場合は、本学から経済産業省への許可申請が必要となり、すぐに教育研究活動ができない場合があります。また、本学からの許可申請について、経済産業省が不許可とした場合は、希望する教育研究内容の変更を求められる場合や、結果的に本学での教育研究活動ができない場合があります。

【参考】経済産業省 URL：https://www.meti.go.jp/policy/anpo/

本件に関する本学問い合わせ先　研究推進・産学連携課 ken-apply@jim.kit.ac.jp

アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

応用生物学専攻

人材育成の目標

バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

ライフサイエンスに関し特に優れた知識を有し、実験科学に関する豊かな創造性、英文の読解や表現に優れた能力

材料創製化学専攻

人材育成の目標

本専攻では、高分子物性工学、無機材料科学、材料物理化学、並びに光工学に関する十分な基礎知識をもち、高分子やセラミックスなどをベースにして高次構造化・機能化のアプローチにより実効性ある革新材料開発を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚、豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

本専攻の修了生は、電気製品、化学（プラスチック、有機、無機他）、繊維製品、ゴム製品、ガラス・セラミックス等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

物理化学をベースに、高分子科学あるいは無機化学の関連分野に関して優れた学力を有するとともに、高分子材料やセラミック材料を作り出す（創製する）ことに対して強い関心を示し、材料創製を通して科学を追及する心の知性とそれを実現する意欲

材料制御化学専攻

人材育成の目標

高い機能を持つ材料を扱う研究技術者は、高分子、無機材料などの個々の特性についての知識に止まらず、機能の源となる基礎的な性質について深く理解していることが求められます。本専攻では、それらの知識と理解に基づき、社会に役立つ材料とは何かを考え、将来への見通しを持つ人材、さらに自らの技術力をグローバルに展開する国際性をもつ人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

化学及び関連分野に関して優れた学力を有するとともに、高分子物質、無機物質などの集合体による、材料のブレークスルーを実現することを志向し、真に豊かな社会の発展を目指すための総合力

物質合成化学専攻

人材育成の目標

本専攻では、有機、無機、高分子化合物、各種ハイブリッドの合成化学、精密分子設計、触媒反応化学、界面材料化学、ならびにヘテロ元素化学に関する十分な基礎知識をもち、精密合成を基盤にボトムアップのアプローチで、医薬品、農薬、発光材料、液晶分子、界面活性物質、繊維改質剤、光反応性触媒など、革新的な物質や材料の創成を実現する応用

能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として、人間的に広く深い素養と自覚、ならびに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。本専攻の修了生は、化学（有機、プラスチック、油脂他）、医薬品、繊維製品分野などの企業において、化学製品や機能材料の創製に軸足を置いた研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

化学及び関連分野に関して優れた学力を有するとともに、物質の合成に強い興味と関心をもち、環境との調和を考えながら、原子・分子レベルでの物質創成を通して、有用な新規材料の開発を進める能力

機能物質化学専攻

人材育成の目標

本専攻では、生体関連化学、生物化学、物理・分析化学、分子構造化学、高分子化学及び化学工学に関して十分な基礎知識をもち、生物の機能や構造を再現・応用することによって、新しい物質や材料を創成するとともに、化学の視点を軸として分子レベルで物質の機能を捉え、構造を探り、その活用を促進できる応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、他専攻の講義履修や研究交流を通じながら、広い視野で材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚並びに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

化学及び関連分野に関して優れた学力を有するとともに、生命科学と化学の学際領域を担う機能性物質の構造と機能について強い興味と関心を持ち，英語の理解力及び研究に関する問題解決能力を有すること

電子システム工学専攻

人材育成の目標

数学、物理学、電気電子系専門科目の十分な基礎知識を有し、再生可能エネルギー、ナノテクノロジー、新材料、エレクトロニクス、情報通信、画像処理に関する基盤技術を修得するとともに、高度な専門知識に基づいて、物理学、化学、医学との境界領域分野の開拓を先導できる能力、新しい技術を社会実装できる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する小論文や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

修学及び研究活動に必要な英語力、基礎学力、希望研究分野に関連した専門基礎知識、研究意欲

情報工学専攻

人材育成の目標

あらゆる産業基盤を支えているICTについての高度な知識と技能を身に付け、情報機器製造業をはじめとする様々な製造業において、またICTを活用したサービス事業を展開する企業において、さらにはICTに関連した様々な企業及び教育・研究機関において、リーダーシップを持ちつつ自発的かつ国際的に研究・開発を行い、人間中心型の豊かな情報社会の構築を先導する研究技術者の育成です。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する小論文や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

情報工学、数学に特に秀でた能力を有するとともに、研究活動に必要な英語能力を有し、豊かな情報社会を実現する強い熱意を持って創造的な研究・開発に意欲的に取り組める能力。

機械物理学専攻

人材育成の目標

機械物理学専攻は、機械工学の根幹をなす力学分野を中心に、様々な物理現象を理解するための理論的、実験的及び数値的解析手法を身に付け、実際の工学的問題に応用する能力を有し、国際的に活躍できる「探究的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

機械設計学専攻

人材育成の目標

機械設計学専攻は、機械工学のみならず幅広い先端的テクノロジーに精通し、これらの工学的知識を横断的に駆使することによりイノベーションをデザインする能力を有し、国際的に活躍できる「実践的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

デザイン学専攻

人材育成の目標

本専攻では、モノづくりに関わる専門的な社会実装能力を身につけ、異分野の専門家との混合チームの中でデザイナーやエンジニア、またマネージャーとして力を発揮でき、アイデアを実現するためのプレゼンテーション能力と英語でのコミュニケーション能力を身につけ、また、キュレーション分野においては、美術、デザイン、建築などの作品や作者についての基本的な知識を習得し、それを踏まえて作品の分析と文献の解読による理論構築をするとともに、対象の「価値」を「キュレーション」（「企画」「編集」「ディレクション」「展示」「発信」）という形式でも示しうる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

さらに、連携外国大学（ロンドン芸術大学）とのダブルディグリーコース（ＤＤコース型）では、デザイン分野での国際連携プロジェクトなども行える人材の育成も目指しています。

選抜の方針・ポリシー

研究計画や専門知識に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

デザイン、マネジメント、テクノロジー、キュレーションに関する基本的な知識と制作スキル、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

表現・造形の基本形をマスターしたデザイン系学科、建築系学科の大学の卒業生や、経営系学科、生活科学系学科、エンジニアリング系学科の卒業生、及びそれらと同等の学力を有するモノ・空間・サービス等のデザインやキュレーションに関心のある他学科の卒業生を選抜の対象とします。

※修了方法について

本専攻には、修了審査に論文を提出する論文型と、デザインの実制作の成果を提出する特定課題型、また，共同プロジェクトやデザイン課題の成果を提出する連携外国大学（ロンドン芸術大学）とのダブルディグリーコース（ＤＤコース型）の３種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。なお、ＤＤコース型は２年後の９月に修了します。４月入学の場合は修了まで２年半在籍することになります。（３×３特別入試では、修了方法「論文型」及び「特定課題型」のみ募集します。）

建築学専攻

人材育成の目標

本専攻では、国際的な競争力を有した都市・建築の計画立案、設計、総合的マネジメントの能力を有し、歴史や環境、地域に根ざした都市・建築の保存・修復・再生に関する構想力と、総合的マネジメント能力を身に付け、さらに、デザインやまちづくりの合意形成や研究内容の社会化を意識した、高い説明能力を有している人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

研究計画や専門知識または持参作品に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

建築学に関する基礎的な学力と建築設計能力、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

特に京都という地において都市・建築を学ぶことに意識的な人材、歴史と場所性に寄り添う思考態度を持つ人材、地球規模で都市・建築とそのデザインを考える発想力と創造意欲を有する人材を求めます。

※修了方法について

本専攻には、修了審査に修士論文を提出する論文型と、修了作品を提出する特定課題型の２種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。

京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻

人材育成の目標

本専攻では、「英語を共通語とした語学能力とグローバルな視点」「国際的に通用する建築計画・設計能力と都市・建築の再生・リデザイン能力」をもち、さらに「総合的かつ論理的に思考する能力」「実践・提案につなげていくためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力」「様々な文化的背景を持つ都市・建築空間を地域に根ざして読み解く能力」を身につけた人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

研究計画や専門知識または持参作品に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

「３×３特別入試」については、本学工芸科学部で優れた学業成績を収め、所定の推薦を受けた者に出願資格を与えます。

求める能力と適性

建築計画・設計と都市・建築の再生・リデザインに関する基礎的能力を有し、国際的な環境におけるコミュニケーションやプレゼンテーションへの意欲・行動力を持ち、様々な文化的背景を持つ都市・建築空間の地域性への理解・関心を有すること。

※修了方法について

本専攻には、修了審査に修士論文を提出する論文型と、修了作品を提出する特定課題型の２種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。

先端ファイブロ科学専攻

人材育成の目標

繊維や繊維製品に関連する科学技術と工学、およびヒトへの応用を学ぶことにより、ヒトと環境に優しいものづくりができ、かつ未知のものに向かって自らの考えでアプローチができる応用力を身につけた人材を育成します。加えて、新しい機能性繊維の開発や、繊維製品の設計・評価・リサイクル、さらにはヒトの生体情報や日本の伝統技術の理解といった先端の専門研究を自らが主体的に実践することにより、高度な専門的技術や知識を備えた人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

積極的な知識の習得意欲ならびに課題解決に対しての積極性を求めます。英語力の評価、これまで学んできた専門知識に関する口述試験の評価により、能力・適性を判定します。

求める能力と適性

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力

バイオベースマテリアル学専攻

人材育成の目標

バイオベースマテリアル学専攻は、人類が直面する地球環境問題の解決と理想的な未来社会を実現しようとする気概を持ち、高度に分化・専門化した現代の科学技術の基礎を横断的かつ国際的に理解し、その課題解決のために協働できる人材を育成します。その目的達成のためには、植物バイオマスからの原料開拓とそれを用いた高分子材料の合成、高分子材料の物性や微細構造の解析及び成形加工などバイオベースマテリアルに関する研究開発が不可欠であり、これらの分野を理解できる人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組め、その実現を目指す人を求めます。口述試験及び英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

環境問題への関心と解決意欲を備え、科学に対する興味があり、自身の研究が社会に貢献することを望みます。

よくあるご質問

Q１：３×３特別入試で情報工学専攻への出願を考えていますが、出願時に志望理由書や、研究計画書の提出は必要ですか。

A　：**不要**です。3 ページに記載の出願書類のうち、志望理由書、研究計画書の項目に明記されている専攻・区分に出願する場合のみ、それぞれ提出が必要です。
また、大学卒業見込者、高等専門学校専攻科修了見込者へ出願される場合については、それぞれ 10 ページ、17～18 ページの出願書類を参照してください。

Q２：希望指導教員と連絡を取りたいのですが、連絡先を教えてください。

A　：大学院入試最新情報（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）ページ右上の「教員一覧（研究内容等）」に、博士前期課程（修士課程）、博士後期課程で指導を行う各教員の研究テーマと、事前相談フォームのURLを掲載していますので、同フォームから連絡してください。

問い合わせ先

大学院入試全般について

〒606－8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 番地 京都工芸繊維大学
入試課大学院入試係
TEL：075－724－7162　e-mail：innyushi@kit.ac.jp

◆ 入試課へお問い合わせの際には、受験希望の入試について下記の情報をできるだけ詳細にお知らせください。また、出願後のお問い合わせについては、必ず受験票に記載されている「受験番号」をお知らせ願います。
- 修士課程、博士課程
- 「入試種別」（推薦、自己推薦、一般、社会人、外国人留学生）
- 「入試区分」（4月入学（第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期）、秋入学）
- 「志望専攻」

入学手続について

学務課学務企画係
TEL：075－724－7133　e-mail：gakumu@jim.kit.ac.jp

入学料・授業料の免除制度及び奨学金制度について

学生支援・社会連携課経済支援係
TEL：075－724－7143　e-mail：shogaku@jim.kit.ac.jp

安全保障輸出管理について

研究推進・産学連携課
e-mail：ken-apply@jim.kit.ac.jp